

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

Nihongo Junbushitsu 8300
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

- (1) To develop the ability to communicate in daily life
- (2) To develop the ability to study the majors of each student by learning academic and technical Japanese
- (3) To develop the ability to learn Japanese independently.
- (4) To develop the ability to assimilate Japanese community and university through experiencing a variety of cultural and social programs

【授業キーワード】

elementary level, survival Japanese

【授業内容及び授業方法】

This class is for the foreign students who have no or some proficiency of Japanese. The students will study Hiragana & Katakana first, and will develop communicative ability through learning basic Japanese expressions.

【授業項目】

1. hiragana/katakana
2. Introducing oneself, Greetings
3. Daily expressions
4. Describing Daily activities
5. Time expressions
6. Possession, Existence
7. Agreeing and Disagreeing
8. Request, Permission, prohibition
9. Casual conversation
10. Expressions in Other Languages
11. Conditions, reverse conditions
12. Confirmation, Explanation, Information
13. Change of State
14. Opinions, Quotations
15. Exam

【教科書】

Basic Japanese for Students, HAKASE

【成績の評価方法と評価項目】

Quiz 30%
Exam 35% (2 times)

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室
#505, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

This class is designed for students who have little or no knowledge of Japanese. The purpose of this class is to develop a survival-level of proficiency in the language skills of speaking and listening. The goals of these skills are as follows.

Speaking and listening skills: being able to carry out basic conversation with topics about everyday life and students' interests at the survival level.

【授業キーワード】

elementary level, survival Japanese

【授業内容及び授業方法】

You study Hiragana/Katakana first, and develop communicative ability through learning basic Japanese expressions.

You will learn letters, hiragana and katakana, pronunciation, basic structures, vocabulary and communication skills.

【授業項目】

1. Hiragana/Katakana
2. Introducing Oneself, Greetings
3. Daily Expressions
4. Describing Daily activities
5. Time Expressions
6. Possession, Existence
7. Agreeing and Disagreeing
8. Request, Permission, Prohibition
9. Casual Conversation
10. Expressions in Other Languages
11. Conditions, Reverse Conditions
12. Confirmation, Explanation, Information
13. Change of State
14. Opinions, Quotations
15. Exam

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on vocabulary quizzes(30%) and final examination(70%).

【留意事項】

This course is designed for students who have little or no knowledge of Japanese.

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

Nihongo Junbishitsu 8300
matsuda@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

毎日の生活でひつような日本語を勉強します。このクラスで日本語を勉強すると、かんたんな日本語で日本人と話すことができます。そしてひとりで買い物したり、旅行したりすることができます。

【授業キーワード】

Basic Japanese, Speaking, Listening, For elementary-mid or Elementary-high level
初級日本語、会話と聴解、初級後半向き

【授業内容及び授業方法】

- 1 新しいことばの勉強
- 2 新しいぶんぼうの勉強
- 3 新しいことばやぶんぼうを使って話したり聞いたりする練習

【授業項目】

1. Review Lesson1-25
2. L26
3. L27,28
4. L29
5. L30
6. L31,32
7. L33,34
8. L35,36
9. L37,38
10. L39,40
11. L41,42
12. L43,44
13. L45,46
14. L47,48
15. Exam

【教科書】

「みんなの日本語初級II」スリーエーネットワーク

【参考書】

しりょうをくばります

【成績の評価方法と評価項目】

Midterm Exam (40%)、Final Exam (60%)

【担当教員】

柴崎 秀子

【授業目的及び達成目標】

毎日の生活でひつような日本語を勉強します。このクラスで日本語を勉強すると、かんたんな日本語で日本人と話すことができます。そしてひとりで買い物したり、旅行したりすることができます。

【授業キーワード】

Basic Japanese, Speaking, Listening, For elementary-mid or Elementary-high level
初級日本語、会話と聴解、初級後半向き

【授業内容及び授業方法】

- 1 新しいことばの勉強
- 2 新しいぶんぼうの勉強
- 3 新しいことばやぶんぼうを使って話したり聞いたりする練習

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

経営情報棟508

【授業目的及び達成目標】

主に基本的な読解力と聴解力の養成を目的とし、
日本語能力試験2、3級レベルを目標とする。

【授業キーワード】

漢字熟語、文末表現、言い換え、聴解ストラテジー、テキストの論理的分析

【授業内容及び授業方法】

日本語能力試験2、3級レベルの問題を主要な教材として、出題に関
わる知識を幅広く解説する。

【授業項目】

- 第1週 間違いやすい漢字及び漢字熟語の正確な読み方・書き方
- 第2週 同上
- 第3週 語彙の増強と文脈における適切な使い方
- 第4週 同上
- 第5週 敬語
- 第6週 敬語
- 第7週 様々な文末表現
- 第8週 様々な文末表現
- 第9週 同義文による表現力の充実
- 第10週 会話におけるキーワードの聴解
- 第11週 会話における主旨の聴解
- 第12週 同上
- 第13週 長文の読解
- 第14週 同上
- 第15週 同上

【教科書】

教員が教材を用意する

【参考書】

授業で指定する

【成績の評価方法と評価項目】

テスト6回(計60%)授業に参加する積極性(10%)、期末テスト(30%)

【留意事項】

出席重視

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

matsuda@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

主に日本語の基本的な読解力と聴解力を養成する。具体的には資料と音声情報から与えられた情報を複合的に処理する能力を養成し、日本語での大学生活における問題解決能力の向上をはかる。専門の講義を理解する練習も行い、専門日本語教育への橋渡しを行う。

【授業キーワード】

聴読解 工学日本語

【授業内容及び授業方法】

資料と音声情報が相補的に提供される聴読解問題を提供し、受講者は資料と音声情報を照合しながら問題解決を行う。トピックは基本的に科学技術に関する一般教養的な内容のものから選択する。

授業の流れ

前回の問題に基づく小テスト→聴読解問題挑戦→回答→話し合い→スクリプトチェック→語彙・表現の学習→ディクテーション→理解した内容の要約、説明

【授業項目】

- 第1週 オリエンテーション、レベルチェック
- 第2週 掲示に基づいたキャンパス日本語の理解
- 第3週 掲示に基づいたキャンパス日本語の理解
- 第4週 画像等に基づいたニュースの理解
- 第5週 画像等に基づいたニュースの理解
- 第6週 グラフ、資料等に基づいたニュースの理解
- 第7週 グラフに基づいたディスカッションの理解
- 第8週 グラフに基づいたディスカッションの理解
- 第9週 新聞記事に基づいたディスカッションの理解
- 第10週 新聞記事に基づいたディスカッションの理解
- 第11週 パワーポイントに基づいた講義の理解
- 第12週 パワーポイントに基づいた講義の理解
- 第13週 パワーポイントに基づいた講義の理解
- 第14週 パワーポイントに基づいた講義の理解
- 第15週 最終試験

【教科書】

教員が教材を用意する

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト(30%) 期末テスト(70%)

【留意事項】

日本語レベルが中級一中以上の学生を対象とする

【参照ホームページアドレス】

JST技術者育成WEBラーニングプラザ

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室

【授業目的及び達成目標】

初級レベルの日本語のクラスを修了したからといって、学習した全ての単語を記憶していたり、実際に使えたりするわけではない。そこで、本クラスでは既に学習した単語を復習し、それと関連づけながら新しい単語を学習することで、中級レベルの基礎作りを行う。

【授業キーワード】

単語、語彙、初級、中級基礎

【授業内容及び授業方法】

初級で学習した単語を復習する。その際、単語間の関係性を捉える練習を行う。既習単語に関連した新しい単語を導入、練習する。

【授業項目】

1. クラスガイダンス、能力確認
2. 大学生活に関わる語彙(5回)
3. 日常生活に関わる語彙(5回)
4. 健康に関わる語彙(3回)
5. 期末試験(1回)

【教科書】

「漢字・語彙が弱いあなたへ」凡人社、「ペアで覚えるいろいろなことば」武蔵野書院

【成績の評価方法と評価項目】

単語テスト(30%)と期末試験(70%)により評価する。

【留意事項】

初級修了者を対象とする。

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

講義棟 日本語準備室
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

中上級レベルの読解演習(漢字学習を含む)。上級レベルへの橋渡しとして、特に読む技能の向上を目指す。

【授業キーワード】

中上級、読解、漢字、語彙

【授業内容及び授業方法】

1.語彙の学習 2.読解 3.資料の収集 4.意見交換 5.漢字表の作成

【授業項目】

<テーマ>

1. 時間
2. 再生資源
3. 仮想現実
4. 新素材
5. 宇宙

【教科書】

プリントを使用する

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト30%、課題提出20%、期末試験50%

【留意事項】

日本語能力試験2級合格以上の能力のある者の受講が望ましい。
受講する学生の構成によっては、計画を変更する可能性がある。

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

matsuda@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

日本語によるレポート作成や口頭発表のための基礎的な表現技術を身につける。

【授業キーワード】

レポート作成 作文

【授業内容及び授業方法】

レポートや論文の作成に必要な日本語を学ぶ
受講者同士が話し合いを通じて協力的に学習を行うピア(仲間)・レスポンスの方法をとる。

【授業項目】

- 1 作文の基本1
- 2 作文の基本2
- 3 課題の提示
- 4 目的の提示
- 5 定義と分類
- 6 図表の提示
- 7 変化の形容
- 8 対比と比較
- 9 原因の考察
- 10 列挙
- 11 引用
- 12 同意と反論
- 13 帰結
- 14 結論の提示
- 15 試験

【教科書】

資料を配布

【参考書】

『大学・大学院留学生の日本語 4論文作成編』
『技術者・学生のためのテクニカル・ライティング』

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の課題提出 28%
最終試験 72%

【留意事項】

日本語能力中級一中以上の学生を対象とする

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

講義棟 日本語準備室
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

本学の講義を聴いてノートを取ることができる日本語能力の習得を目指す。

【授業キーワード】

聞き取り、聴解、テープ、ディクテーション

【授業内容及び授業方法】

基本的な聴解のポイントの解説、聴解技術の習得訓練、実践的な場面を設定しての練習を行う。

【授業項目】

1. 縮約形
2. 音変化(母音脱落等)
3. 文末表現
4. 音調

以上の項目を含む音声テープ、VTR等を視聴し、聴解技術の習得をはかる。

【教科書】

配布資料

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト30%、課題提出20%、期末試験50%

【留意事項】

最初の授業に録音用カセットテープ(60分)を持参すること。
受講する学生の構成によっては、計画を変更する可能性がある。

【担当教員】

栄 隆士

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報系1号棟226室(内線9853)

メールアドレス:tsakae@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

科学技術と密接に関わりながら革新的、個性的な経営をしている企業に関するテキストを読み、もの作り企業の経営戦略の一端を理解できるようにする。これにより、留学生が、日本の技術だけでなく、企業経営にも視野を広げ、将来、指導的技術者として生きるモチベーションを養う。

【授業キーワード】

技術・科学分野における語彙、表現

スラッシュ・リーディング

パラグラフ・レベルでのサマリー

テキスト構造の分析

テキストのサマリー

先進的な企業経営

ディスカッション

【授業内容及び授業方法】

新聞記事などを主な教材として、主に地元・新潟における特徴のある中小企業(主に第二次産業)をとりあげ、技術と経営の関わりについて考える。上記キーワードに沿って理解を促進し、テキストのトピックについて、受講生のディスカッションも促す。

【授業項目】

第1週 日本の企業経営の特徴と変化

第2週 テニスラケット、ヨネックス(長岡市)

第3週 アウトドア用品、スノーピーク社(三条市)

第4週 ヨーグルト、ヤスダヨーグルト(阿賀野市)

第5週 石油ヒーター、ダイニチ工業(白根市)

第6週 セキュリティー、セコム上信越(新潟市)

第7週 寝具製造、伊藤商店(新発田市)

第8週 歯科医療法人、徳真会(新潟市)

第9週 住宅設備、コロナ(三条市)

第10週 作業工具、トップ工業(三条市)

第11週 はさみ、諏訪田製作所(栄町)

第12週 清酒、朝日山酒造(長岡市)

第13週 ワイナリー、欧州ぶどう栽培研究所(新潟市)

第14週 スーパー、原信(長岡市)

第15週 プレゼンテーション「技術を生かす経営戦略」

【教科書】

教員が教材を用意する。

【成績の評価方法と評価項目】

テスト3回(計60%)、出席(計30%)

授業準備と授業における積極性(10%)

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟508

【授業目的及び達成目標】

技術・科学に関するテキストの読解力を養うとともに、技術開発へのモチベーションを高めることを目的とする。技術・科学開発に関わる日本語テキストが理解できるようにする。

【授業キーワード】

技術・科学分野における語彙・表現、スラッシュ・リーディング、パラグラフ・レベルでのサマリー、テキスト構造の分析、テキストのサマリー、ディスカッション、技術開発へのモチベーションの養成

【授業内容及び授業方法】

新技術実現に関わる日本語テキストを主な教材として、上記キーワードに沿って理解を促進していく。テキストのトピックについて、受講生のディスカッションも促す。

【授業項目】

- 第1週 技術開発に取り組む心構え
- 第2週 同上
- 第3週 交通技術
- 第4週 同上
- 第5週 土木技術
- 第6週 同上
- 第7週 通信技術
- 第8週 同上
- 第9週 医療技術
- 第10週 同上
- 第11週 ロボット技術
- 第12週 同上
- 第13週 環境問題に取り組む技術
- 第14週 同上
- 第15週 プレゼンテーション「技術開発に取り組む心構え」

【教科書】

教員が教材を用意する。

【成績の評価方法と評価項目】

小テストまたは小レポート5回(50%)、授業における積極性(20%)、期末レポートとプレゼンテーション(30%)

【留意事項】

出席重視

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室

【授業目的及び達成目標】

- 1) ディベートによる情報収集・分析・討論を通じて日本の政治・社会・経済・文化に関する話題や日本と外国に関わる様々な問題に関して理解を深める。
- 2) 同時にディベートによって、客観的分析力・論理的思考力、相手の意見を聞く能力と日本語による討論能力の向上を達成する。

【授業キーワード】

ディベート、討論能力、分析能力、情報収集、文章作成

【授業内容及び授業方法】

まず、スピーチ練習を通じて制限時間内における自分自身の話すスピードと話せる量を把握する。これは人前における発表の基礎となるものである。次に、ディベートを構成するパート(立論、質問、反論)ごとに練習を行った後、グループごとに資料収集・分析作業を行い、ディベートによる討論を行う。

【授業項目】

1. スピーチの基礎(2回)
1分間スピーチ、3分間スピーチ
2. ディベートの基礎(2回)
ディベートとは、ディベートのルールと構成、立論・尋問・反駁の方法、審査方法、レポート作成法
3. ディベートによる討論(11回)
チーム編成、論題の設定、資料収集、分析・議論の組立、ディベートによる試合、評価、レポートの作成

【成績の評価方法と評価項目】

レポート(50%)と発表(50%)により評価する。

【留意事項】

上級レベルの学習者を対象とする。

General Affairs of Japan 1-2

【担当教員】

栄 隆士

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報系1号棟226室(内線9853)

メールアドレス:tsakae@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

日本についての基本的な知識を身につけさせ、日本と日本人を理解するための基礎力を養う。また、留学生が母国や世界をより客観的に受け止められるように広い視野を養う。

【授業キーワード】

日本社会、日本人、異文化比較、人類の普遍性、ディスカッション

【授業内容及び授業方法】

日本の社会の主要な分野をトピックとしてとりあげる。即ち、日本社会の主要分野についての基本的なデータを学生に提供し、その背景を説明する。さらに、日本社会の具体的な現象をどう解釈するかについて、ディスカッション促す。ディスカッションでは、留学生が母国と日本の諸相を比較するとともに、相違点の認識に偏ることなく、人類の普遍性についての視点を積極的に取入れる。授業では、最新の映像教材の導入に努める。

【授業項目】

- 第1週 日本社会のグローバル化 — 大相撲
- 第2週 日本社会のグローバル化 — 外国人労働者
- 第3週 日本国憲法 — 皇室の地位
- 第4週 日本国憲法 — 平和主義と自衛隊
- 第5週 政治とマスメディア — 民主主義と自由
- 第6週 日本の技術力 — 新幹線の歴史と現在
- 第7週 経済 — 日本型経営
- 第8週 経済 — 日本企業の海外進出
- 第9週 経済 — 日本人の労働倫理
- 第10週 ことわざに見る日本人の価値観
- 第11週 大地震と日本社会
- 第12週 日本の若者 — 大学生の暮らしと心
- 第13週 日本の若者 — ニート、フリーター
- 第14週 日本人のチャレンジング・スピリット — 町工場
- 第15週 日本人のチャレンジング・スピリット — 建築家・安藤忠雄氏から若者へのメッセージ

【教科書】

教員が教材を用意する。

【参考書】

Japan Almanac 2006(朝日新聞社)

【成績の評価方法と評価項目】

レポート2回(20%+25%)

出席(45%)授業における積極性(10%)